

令和7年度

第1回進路説明会

令和7年5月23日（金）

14時30分～ 赤塚第三中学校 体育館

東京都板橋区立赤塚第三中学校

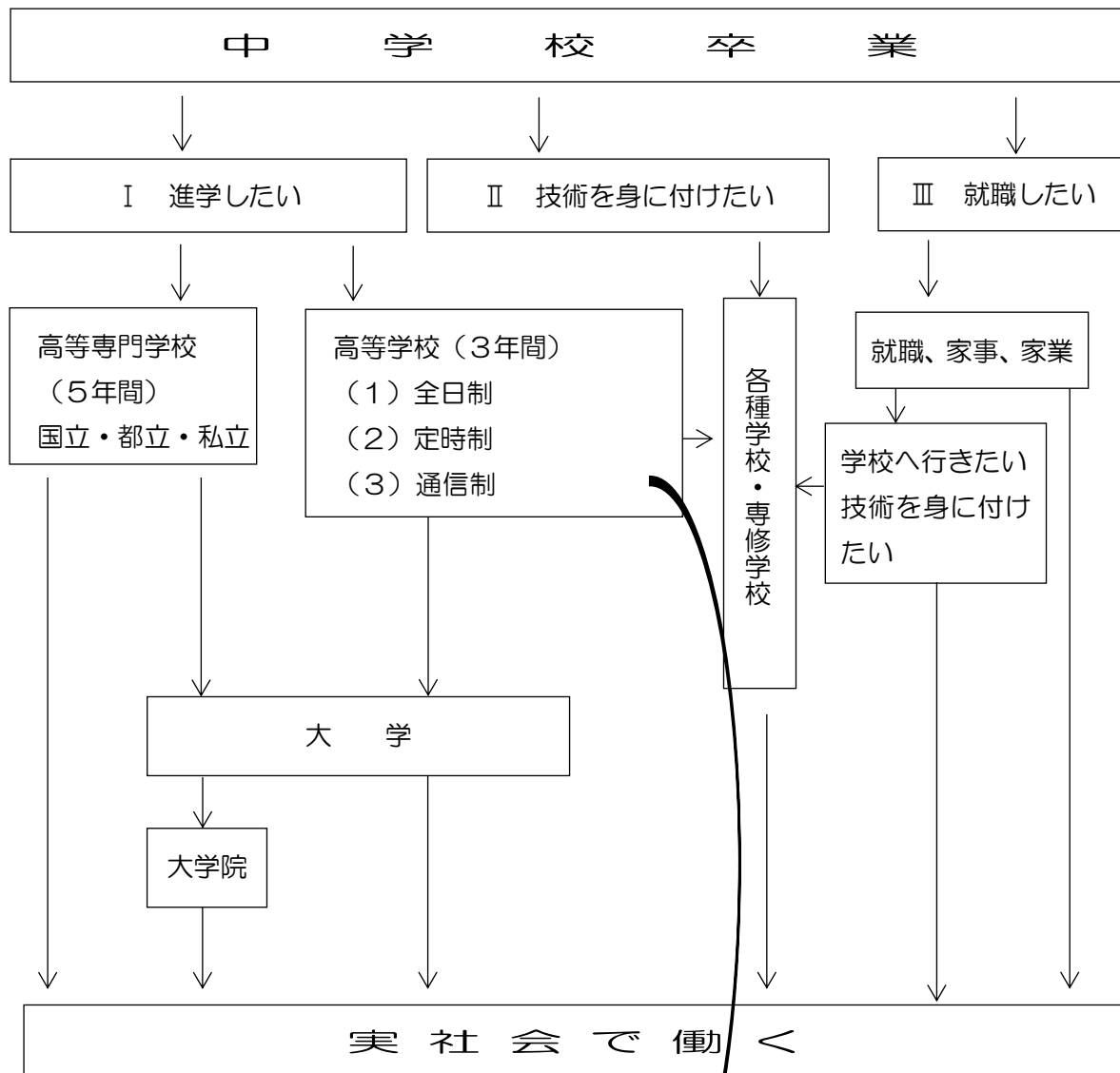
目次

- 1 進路年間予定表
- 2 卒業後の進路チャート
- 3 具体的な進路先
- 4 都立高校と私立高校の相違比較
- 5 推薦入試について
- 6 一般入試について
- 7 志望校の組合せ方の代表例
- 8 赤塚第三中学校推薦基準について
- 9 昨年度の主な進学先
- 10 進路決定に向けたお願い
- 11 資 料

1 進路年間予定表

	学校行事	進路予定
4月	1 学期始業式 7 日(月) 入学式 8 日(火) 保護者会 19 日(土)	全国学力学習状況調査 15 日(火) 17 日(木)
5月	評価基準保護者説明会 2 日(金) 運動会 30 日(金)	第 1 回進路説明会 23 日(金)14 時 30 分 <u>第 1 回進路希望調査配布 30 日(金) 〆 切り</u>
6月	期末考査 18 日(水)～20 日(金)	第 1 回復習確認テスト 25 日(水)
7月	1 学期終業式 18 日(金)	<u>第 2 回進路希望調査配布 11 日(金) 〆 切り</u> 三者面談 22 日(火)～29 日(火)
8月		私立希望者は、各学校の相談会へ参加
9月	2 学期始業式 1 日(月) 中間テスト 25 日(木)・26 日(金)	第 2 回復習確認テスト 2 日(火)
10 月	修学旅行 15 日(水)～17 日(金) 文化祭 28 日(火) (合唱コンクール)	<u>第 3 回進路希望調査配布 14 日(火) 〆 切り</u> 第 2 回進路説明会 10 日(金) 三者面談 30 日(木)～11 月 7 日(金) ※9 年のみ
11 月	期末考査 12 日(水)～14 日(金)	<u>第 4 回進路希望調査配布 21 日(金) 〆 切り</u> 第 3 回復習確認テスト 17 日(月) 18 日(火) 面接練習開始(予定)
12月	終業式 25 日(木)	三者面談 1 日(月)～5 日(金) 私立入試相談始 15 日(月)～ 面接練習
1月	始業式 8 日(木)	私立推薦・一般・併願優遇出願 私立推薦入試 都立推薦出願 都立推薦入試
2月	学年末考査 24 日(火)・25 日(水)	都立推薦発表(2 月上旬) 私立一般入試 都立前期入試
3月	卒業式 19 日(木)	都立前期合格発表 都立後期入試

2 卒業後の進路チャート



高等学校(3年間)

(1) 全日制

- ・学年制—普通科・専門学科
- ・単位制—普通科・専門学科・総合学科

(2) 定時制(都立・私立)

- ・学年制—普通科・専門学科
- ・単位制—チャレンジスクール・昼夜間など
(他履修により3年での卒業も可)

(3) 通信制

※国立・私立高校も基本的には都立高校と同じ

※通信制高校と連携し、高校卒業資格できるサポート校も多くある。

都立高校については、6月下旬頃「令和8年度東京都立高等学校、高等専門学校に入学を希望する皆さんへ」という冊子が配られます。

3 具体的な進路先

- (1) 高等学校
設立区分 国立・都立(公立)・私立
男女区分 共学・男子校・女子校・男女校(男女別学)
制度区分 全日制・定時制・通信制
学科区分 普通科・専門学科・総合学科
- (2) 東京都立産業技術高等専門学校(高専) 公立大学法人首都大学東京による募集
高専品川キャンパス 高専荒川キャンパス *5年間の一貫教育
※受検日程が他の都立高校より早く設定されています
- (3) 通信制補習校「サポート校など」
その学校に入学と同時に、高等学校通信制課程に入学し、高校卒業資格取得までの三年間を独自のカリキュラムでサポートします。
- (4) 専修学校高等課程
中学校卒業者を対象。専門プラス一般教養。「～高等専修学校」という。私立高等専修学校は都内に多く、大学入学資格付与指定校もあります。
- (5) 就職
中学卒業生対象の求人は年々少なくなっています。今年も厳しい状況が予想されますので、待遇や条件を考え、自分に適した仕事を検討してください。希望する場合は公共職業安定所(ハローワーク)の「中学求人一覧表」の中から希望の事業所を見つけます。
- (6) 都立職業能力開発センター
以前は「職業訓練校」と呼ばれていたものです。この学校の目的は、「時代にこたえる専門的な職業技術を習得し、より有利な就職への道を作る」こととなっており、特に中学卒業生が対象ではなく、広く一般労働者が対象といえます。その中で、中学卒業生に対して「専修課程」というコースを設けている学校は都内にあります。修業年限は昼間部・1年間で、授業料は無料です。近辺では、板橋・赤羽などにあります。入校試験は2月です。
 - ・ 機械系:機械、工業彫刻、金型、溶接、自動車整備
 - ・ 建築系:木工
 - ・ 電機系:電気工事、家電品サービス
 - ・ 科学系:プラスチック加工、塗装
- (7) 企業内高校
日野工業(日野市)やトヨタ(愛知県)などの企業が学校を設置し、社員の身分で学ぶ機会が与えられます。入学基準は高いです。

4 都立高校と私立高校の相違比較

	都 立	私 立
男女 区分	男女共学制	共学校・男子校・女子校・男女別学校
特色	都立校でも改革によって、新しい特色をもった新設の学校もできている。伝統や行事などもさまざまである。	進学校・大学付属校等さまざまで、宗教系の学校もある。学校によって、創立者の「建学の精神」があり、特色ある教育を行う。
選抜 制度	推薦、一般入試ともに1校しか受検できない。一般入試は、原則5科受検である。学力検査問題は各校共通だが、自校で作成する学校もある。	試験日が異なる場合、一般受験であれば、複数受験できる。ほとんどが3科(国数英)受験である。
推薦 制度	一般推薦と文化・スポーツ特別推薦があり、学科によって定員の割合が決まっている。実質倍率はまだ非常に高い。	一般的な推薦のほか併願優遇がある。推薦受験も併願優遇受験も、中学での成績が基準を満たすことが条件で、面接や小論文等を含め、人物が重視される。 例外として、5教科、3教科(国数英)の受験を行う学校もある。
費用 概算	・受検料 全日制 2,200 円 定時制 950 円 ・入学金 全日制 5,650 円 定時制 2,100 円 ・授業料 全日制 118,800 円(年額) 定時制 32,400 円(年額) ・その他、雑費が必要となる。	・受験料 約 22,000 円 ・入学金 約 250,000 円 ・授業料 年額約 450,000 円 ・施設費等 年額約 210,000 円 一例です。 各学校によって金額は違います。
服装	自由な学校もあるが、制服指定の学校が多い。	ほとんど制服指定である。

<令和6年 都立 推薦入試結果より>

学校名	募集人数	受検人数	合格人数	倍率	不合格数
北園(普通)	64	167	64	2.61	103
文京(普通)	72	171	72	2.38	99
豊島(普通)	64	256	64	4.00	192
高島(普通)	64	190	64	2.97	126
板橋(普通)	56	195	56	3.48	139

5 推薦入試について

(1) 都立(一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦)

①第一志望が条件なので合格の場合は必ず進学することになる。不合格の場合でも一般入試で同じ学校を再受験することができる。

②選考方法

・一般推薦……「調査書」「面接」「集団討論(特定の学校のみ実施)」「作文・小論文・実技のうち1つ以上」を総合した成績。配点は各校によって異なる。調査書点の総合成績に占める割合の上限は50%。

・文化・スポーツ特別推薦……「面接」「実技」の他、「小論文又は作文等」の検査を適宜組み合わせる。

③募集方法

・一般推薦……在学している中学校長の推薦を受けた者。

1校1コース又は1科(1分野)に限る。志願変更はできない。

・特別推薦……特別推薦を実施する都立高校の種目等のうちから1種目を指定し、1コース又は1科(1分野)に限る。志願変更はできない。なお、当該校の一般推薦にも出願することができる。

④募集人数(募集定員に対する割合)

普通科20%(コース制30%)、専門学科・総合学科等30%(商業は40%)

⑤自己PRカード

各校が示した「本校の期待する生徒の姿」を踏まえて 生徒が自分で記入します。自己PRカードを点数化することはありませんが、面接を行う場合の資料や入試の合格判定資料の一部として活用します。面接を実施しない学校を志願する生徒も入学手続き後、入学予定の高校へ提出します。

(2) 私立(第一志望推薦→合格したら必ずその高校に進学する)

★高校側から具体的な数値等で推薦基準(内申や出席状況等)が示される。中学校長推薦を受けた者は、12月15日から始まる入試相談(中学校教員と高校との相談)を経て、推薦入試に臨む。

①合格基準推薦…(ふつう「私立推薦」といえば、この制度のこと)

各校の定める推薦基準に合致していれば、推薦書、調査書、面接(作文がある場合も)適性検査などで選抜する。ただし、後日ほとんどの学校において、実力を把握するためのテストを実施している。

②受験資格推薦…推薦基準に達していても、出願資格が得られるだけで、当日の「適性検査」(学力テスト)の結果次第で合否が決まる。不合格の場合も多くなるので、第二志望以下も準備しておく。

6 一般入試について

(1) 都立一般入試

・選考方法……学力検査点＋調査書点の点数を総合的に判断します。

受検教科は5教科(国・数・英・社・理)が基本です。

学力検査と調査書点の比率(7:3が基本)、面接、小論文、作文などの配点は学校によって異なります。

上記の他に、学校によって、「実技検査」があり、得点に加えられます。

<基本的な配点>

学力試験 700 点 + 調査書 300 点 + ESAT-J20 点 = 1020 点

※ESAT-J: 11 月下旬に都立高校や民間施設などで実施されます。

・募集方法……第一次募集、第二次募集、分割募集(前期、後期)

[二次募集]

一次募集の結果によって募集人数が決められるため、二次募集はほとんどない年もある。

また、志願者が集中し、高倍率となる傾向がある。

[分割後期]

前期の募集に対して募集人数は大幅に少なくなるため、高倍率になる傾向が大きい。

<令和6年 都立入試結果より>

学校名	募集人数	受検人数	合格人数	倍率	不合格数
北園(普通)	253	430	256	1.68	174
文京(普通)	284	350	286	1.22	64
豊島(普通)	252	500	254	1.97	246
高島(普通)	252	259	256	1.01	3
板橋(普通)	221	298	224	1.33	74

[自校問題グループ作成]

下記の 11 校では国語・数学・英語の学力検査が都立共通問題とは異なる出題で行われます。

進学指導重点校: 日比谷、国立、西、戸山、青山、立川、八王子東

進学重視型単位制高校: 新宿、国分寺、墨田川、国際(英語のみ)

[学力検査によらない入試]

チャレンジスクール(桐ヶ丘、六本木など)は学力検査を実施しない代わりに、桐ヶ丘の例では志願申告書 100 点、面接 600 点、作文 500 点 = 1200 点満点で合否を判定します。

エンカレッジスクールでは足立東の例では、

調査書 400 点 + 面接 400 点 + 作文 400 点 = 1200 点満点で合否を判定します。

(2) **私立**一般入試(例年、東京都では、2月10日から実施されます)

入試相談を受けず、調査書、面接、実際の学力試験の得点で合否が決まる。大学附属校や難関校などにこのケースが多い。高校によっては、生徒の両親や兄弟姉妹の出身校の場合、優遇される場合もある。また、併願などを多く設定している学校の場合、一般入試の枠が少なくなり、合格が難しくなる。

(3) **併願優遇**入試(第二志望)

第一志望は他にあるが、第一志望が不合格だった場合、第二志望であるその学校へ必ず進学するという約束のもと、一般入試において優遇措置が受けられる入試。推薦入試と同じく、成績などを資料とし、高校側が設定した基準に達している場合、私立高校側と中学校教員で入試相談を行い(例年 12 月 15 日から)優遇措置が受けられるかどうかを確認する。その上で一般入試に臨む。

当然、優遇措置を受けるにあたっては、推薦と同様に「中学校長推薦者としてふさわしい生徒であるか」ということと、高校側が設定した基準に達しているかが問われる。

学校によっては、受験日の指定や併願先の学校に制限(公立のみなど)を設けている場合が多い。「併願優遇による入試」は、2月の私立高校一般入試日に実施される。

入学手続き(納入金)にも注意する。公立高校の発表まで払い込みを待ってくれる高校もあれば、一部納入としている高校などある。

※2 推薦・併願優遇・第一志望の志願者に関しては、12月15日からの入試相談を済ませておく必要があります。また、入試相談前に各高等学校が開催する、個別相談に参加する必要があります。個別相談を行ってないために推薦、併願優遇を受けられない、ということが毎年多くあります。

メモ

7 志望校の組合せ方の代表例

(1) 都立高校が第一志望の場合

- ① 都立推薦受検 → 併願優遇 → 都立一般受検

都立第一希望者で、内申も充分に有り、面接練習などの準備にも学習と両立して、しっかり取り組める場合のパターン。

- ② 私立併願優遇 → 都立一般受検

第2希望の私立を優遇で受験することで、安心して第1希望の都立に向けて勉強できる。推薦入試を受けないことで、勉強に集中して取り組める。

- ③ 都立推薦受検 → 都立一般受検 — 都立分割後期・二次募集 — 都立定時制二次募集
私立併願なし。都立一般で決まらなかった場合、分割後期や二次募集で再受検する。

- ④ 都立一般受検 — 都立分割後期・二次募集 — 都立定時制二次募集

私立併願なしで、都立一般の1発勝負。都立一般で決まらなかった場合、分割後期や二次募集で再受検する。

(2) 私立高校が第一志望の場合

- ① 合格基準推薦

内申が合格の基準に達するよう、考査や提出物、授業の受け方など、中学校生活に特に集中して取り組む。

- ② 出願資格推薦 → 私立併願優遇 → 都立一般受検

出願のための内申は足りているが、不合格の可能性があるので、第1希望が不合格の場合に備えて併願優遇も準備。この場合第2希望は都立高校となる。※都立高校は合格したら辞退できないため。

- ③ 私立一般受検 → 私立併願優遇 → 都立一般受検

私立第1希望だが、合格基準推薦に内申が足りず、一般受検でトライする場合。

- ④ 私立一般受検 → 都立一般受検 — 私立二次募集 — 都立分割後期・二次募集

私立第1希望で併願優遇なし。実力勝負の戦いになる。

8 赤塚第三中学校推薦基準について

各高等学校では、一般的な学力試験により合否判定をするほかに、推薦入試制度も実施しています。推薦入試は、志望理由が明確で目的意識をもって3年間頑張ることが大前提です。高等学校から示されている推薦条件を満たしたうえで、さらに現在の中学校生活においても

- ・学校生活のルールを守っている
- ・学習に意欲的に取り組んでいる
- ・学校内外の諸活動にも積極的に取り組んでいる
- ・欠席や遅刻、早退が少なく、基本的な生活習慣が確立している

などが推薦の基準としてあげられます。

本校でも、都立・私立問わず「中学校長の推薦者としてふさわしい生徒であるか」について学年で検討資料を作成し、推薦委員会で審査した後、学校長が決定します。

以下は本校の推薦基準です。よくお読みいただき、御理解の上、推薦願いを御提出いただきますようお願い申し上げます。(併願優遇についても同様です)

赤塚第三中学校 推薦基準

- | | |
|-----|--|
| (1) | 目的意識
志望校の教育理念や求められている生徒像を理解して強い進学の意志をもっていること |
| (2) | 学習
意欲をもって授業に参加し、学力の向上、心身の向上に積極的に取り組んでいること |
| (3) | 生活
中学生としての基本的な生活習慣やマナーを身に付け、「生活の決まり」をしっかり守った服装や行動ができていること |
| (4) | 特別活動
学級活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動などの諸活動に対して、熱心に且つ継続して取り組んでいること |
| (5) | その他
進路先においても、上記(1)～(4)に当てはまる行動をとり、努力を続けられること |
| (6) | 以下の事項に該当する生徒は、推薦の対象者にはなれません。
① 学校内外の生活において、暴力行為、喫煙、万引き等、刑法等における処罰の対象となるような行為を行い、指導を受けた生徒
② 病気やケガなどのやむを得ない事情がある場合を除き、欠席や遅刻早退が著しく多い生徒
③ 学校生活のルールを守らず、次のような行為を繰り返し、反省及び改善がみられない生徒
授業エスケープ、不正行為、授業妨害、暴言、暴力、器物破損、異装、菓子類等の飲食その他迷惑行為
④ その他、推薦入学を希望する高校の基準に満たない生徒 |

9 昨年度の主な進路先

国・公立 全日制	国・公立 定時制	私立高 全日制	私立高 定通信制	その他	合計
108	8	102	7	3	228

近年の主な進学先

【国公立】

戸山・向丘・板橋・板橋有徳・赤羽北桜・大山・鷺宮・新宿山吹・板橋・国際
北園・北豊島工科・桐ヶ丘・王子総合・新宿・総合芸術・高島・田柄・三田
千早・稔ヶ丘・日野台・井草・豊島・練馬・練馬工科・光丘・文京・武蔵丘・保谷

【私立・その他】

京華商業・國學院・淑徳・淑徳巣鴨・城西大学附属城西・日体大荏原・堀越
青山学院高等部・浦和学院・京華・芝浦工大附属・順天・駿台学園・日大二高
成立学園・大東文化第一・専修大附属・貞静学園・東京成徳大学・堀越
中央大学杉並・帝京・東亜学園・東海大学付属高輪台・東洋・中大附属高
東洋大学京北・豊島学院・日本大学櫻丘・日本大学鶴ヶ丘・日本大学豊山
日本大学豊山女子・豊南・武蔵野・早稲田高等学院・中央大学高等学校
東京農業大学第三・桜丘・東京家政大附属・明治学院・法政二高・保善
日本ウェルネス・N 高等学校・S高等学校・飛鳥未来きずな・クラーク国際

昨年度の傾向

- (1) 都立推薦入試は、内申点が合否を大きく左右するとともに、面接練習や作文練習にしっかりと取り組んだ生徒が合格した。
- (2) 早い段階で志望校が決定している生徒、生活が落ち着いている生徒は合格率も高い。
- (3) 都立は普通科も専門学科も推薦の倍率は高く、合格が厳しい状況にある。
- (4) 私立の学校説明会に行かず、直前で併願優遇制度を利用できない家庭もあった。
- (5) 学校の授業を最後(3学期終わり)までしっかり受けている生徒が良い結果になっている。
- (6) サポート校の受験は1学期中から動き出しが必要で、出遅れると受験できないケースもあった。

10 進路決定に向けたお願い

(1)進路選択の最終決定はご家庭(生徒・保護者)で

どういう進路を選択すべきか、どのような方法で受験すべきか、ご家庭で十分に話し合った上で最終決定をしてください。その際、生徒自身の意思を十分に尊重し、また、保護者の考えもきちんと伝え、ご家庭で結論を出してください。生徒の将来について、普段はあらたまってきちんと話し合う機会もとれないかと思いますが、進路希望調査の提出などの機会を逃さず、話し合いを深めていただきたいと思います。「皆が高校へ進学するから自分も行く。」というのではなく、どのような高校に進学して何をやりたいのか、目的意識をもって進路を選択させてください。

(2)学校の役割

本校では生徒が主体的に進路を選択できるよう指導・援助をします。当然ですが受験校を決定することはありません。進路指導に関しては、担任だけではなく、校長、進路指導担当教員、学年所属教員、学校全体にあたりますが、何といたっても一人一人の生徒について細かく把握し、資料を持っているのが担任です。三者面談の機会だけでなく、何かご不明な点があれば、その都度遠慮なくご相談ください。

(3)提出物の期限厳守にご協力を

今後、家庭・学校間で進路関係の書類を頻繁に往復させることになります。学校では全生徒の書類を多数同時に扱うため、ご協力をよろしくお願いします。

(4)「学校見学」「学校説明会」等にご参加ください(日程に余裕をもって)

Aさんにとって理想的な学校が、Bさんにとっては必ずしも理想的な学校であるとは限りません。自分自身に合った学校を選ぶためには、複数の学校を参観し、その中から一番自分に適していると納得した上で、学校を選択するようにしてください。ほとんどの私立高校は、推薦入試・一般入試に関わらず説明会への参加を条件としており、参加の有無が記録に残されます。都立高校の場合も、自己PRカードに志願理由の記載を求めています。

夏休み中や9月頃に多く開催される文化祭の時期は学校見学のよいチャンスです。そして、10月、11月は具体的な入試説明会のピークです。積極的に足を運んでください。

1 1 資料

私立高等学校等奨学給付金事業

保護者が都内に住所を有している場合、私立高等学校等に通う生徒の保護者等の経済的負担を軽減するために、授業料以外の教育費(教材費、学用品費等)を助成する制度です。

対象となる方

生徒の保護者等で下記(1)～(3)のすべての要件に該当する方です。

1 居住要件

東京都内に保護者が住所を有している方(令和7年7月1日現在)

※保護者等の住所が都外にある場合は、居住地の道府県へお問い合わせください。

2 在学要件

平成26年4月以降に、次のいずれかの学校に入学し、令和7年7月1日現在(令和7年7月2日以降に入学した場合は、申請日現在)で在学している生徒の保護者等

(1)私立高等学校(全日制課程、定時制課程、通信制課程)

(2)私立中等教育学校後期課程

(3)私立高等専門学校(1～3年)

(4)私立専修学校高等課程

(5)私立専修学校の一般課程(国家資格者養成施設の指定を受けている学校)

(6)私立各種学校(外国人学校のうち、高等学校の課程に類する課程を置くものとして告示で定める学校、国家資格者養成施設の指定を受けている学校)

(7)私立学校等専攻科(高等学校専攻科及び私立中等教育学校(後期課程)専攻科)のうち、以下のいずれかの要件を満たすもの

・大学への編入学基準を満たす課程を有するもの

・国家資格者養成課程を有するもの

※ただし、特別支援学校の専攻科の生徒を除く。

※1～6の学校の場合、就学支援金又は学び直し支援金の受給資格がある方が対象です。

★都外の学校も対象になります。

3 所得基準

次のいずれかの世帯に該当する方

(1)生活保護 生業扶助(高等学校等就学費)受給世帯

(2)生活保護(生業扶助を受給していない)世帯

(3)令和7年度の住民税(年額)が『非課税』又は『所得割額が0円(非課税)※』の世帯

「所得割額が0円(非課税)の世帯」とは住民税の「均等割」と「森林環境税」のみ課税され、所得割額が0円(非課税)の世帯です。

(4)【専攻科のみ】年収約270万円以上、約380万円未満の世帯

(5)【専攻科のみ】年収約380万円以上、約600万円未満の多子世帯

<令和7年度の変更点>

住民税が非課税・所得割額が0円の世帯の給付額が上がりました。

全日制等:152,000円(令和6年度:142,600円 又は 152,000円)

専攻科の生徒の支援対象世帯が拡充されました。

年収約270万円以上、約380万円未満の世帯:10,420円

年収約380万円以上、約600万円未満の多子世帯:10,420円

詳しくは私立高等学校等奨学給付金事業
ホームページをご覧ください

